

2020 年度実施概要

学校名

与論町立茶花小学校

採択活動名

ユンヌの海を守りたい

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. もっとヨロンを知ろう	3 学年	海洋教育
2. 海からの贈り物	4 学年	海洋教育
3. ヨロンの海とわたしたち	5 学年	海洋教育
4. ヨロンのタカラ発信	6 学年	海洋教育

取り組みの概要

3 年生は「海を知る」4 年生は「海に親しむ」5 年生は「海を守る」6 年生は「海を利用する」を中心テーマに、海洋教育推進協議会と連携した体験活動を位置付け、言語活動の充実を図りながら海洋教育における探究課題の開発と実践を行った。

3 年「もっとヨロンを知ろう」

原田誠一郎さんにユンヌフトゥバ人形劇「ネズミの嫁入り」を見せていただいた。エプロンシアターの生き生きとした様子に惹かれ、「もっとユンヌフトゥバを上手にしゃべれたらなあ。」という感想を子供たちがもった。また、山下友梨香先生に三線を弾いていただき、三線の音色に触れたり音を出したりする機会も設けた。三線の曲は聴いたことがあったが、実際に触れることは初めての子供たちもたくさんいて、三線で曲を弾いてみたいという願いをもった。それぞれが興味をもったグループに分かれて発表の練習をし、キラリ発表会を行った。



4 年「海からの贈りもの」

1 学期は潮干狩りや釣りに行って、たくさんの生き物を観察したり、潮の満ち引きについて知ったりした。見つけた生き物の中で興味をもったものを図鑑やインターネットで調べ、図鑑を作った。

2 学期は生き物を捕まえるための仕掛けを作ったり、潮だまりにいる生き物をあみで捕ったりした。捕まえた生き物は、学校の水槽で飼育し観察をしている。

3 学期はこれらの体験から見つけた与論のよさを国語科の学習を生かしてリーフレットにまとめた。



5年「ヨロンの海とわたしたち」

池田香菜さんをゲストティーチャーに迎え、海の不思議や海の生き物の生態について学習した。そこで、サンゴの存在が海の環境を維持していく上で欠かせないものであることを理解し、サンゴの生き残りゲームをとおして、サンゴの生育環境を守るために自分たちにできることを考えた。

また、与論漁業協同組合の協力のもと、サンゴの増殖体験活動を行った。来年度、グラスボートからサンゴの成長過程を確かめる予定である。

さらに、美しい与論の海を守り活用していくために、学んだことを外部に発信する活動として観光客にも観光を楽しみながら環境を保全する仕組みとして、スタンプラリーを計画している。



6年「ヨロンのタカラ発信」

与論島の「よさ・魅力」に焦点を当て、それを様々な方法や場で発信し、よさを再確認することで、郷土に誇りをもって島だちすることをねらいとしている。見つけたよさを現地に行ってインタビューをしたり、実際に体験をしたりすることで改めて与論のよさを実感させ発信の意欲がもてるようにする。

また、与論島の一員としての社会参画の態度も養えるようにする。右は、与論漁業協同組合の協力のもと、「せり」や「魚のさばき方」の体験活動を行ったところである。

さらに、与論島の「よさ・魅力」を発信するためにヨロン海洋教育フェアにおいてグループごとにアイデアを発表した。

